



深江中学校だより

令和5年9月1日

第7号

文責：校長 黒岩 洋史

【学校教育目標】 ～社会に貢献できる 人間性豊かで しなやかな 生徒の育成～
【スローガン】 時を守り 場を清め 礼を正す

夏休み終了…第2学期始業式

長かった42日間の夏休みも終わり、いよいよ今日から2学期が始まりました。本日の2学期始業式では、実りの学期とするために生徒へ以下のような話をしました。(一部抜粋)

「2学期、特に意識して欲しいこと」について一つ話をします。それは、「受け身・指示待ちからの脱却」の更なる強化です。以前、話をしたように、ここ数年、コロナ禍の影響もあり、自分の判断で行動することが難しく、先生方からの指示で動いていたり、受け身や指示待ちの場面がたくさんあったりしました。世界的にコロナ禍を経験した現代以降はVUCA（ブーカ）と言われる時代に突入しました。VUCA（ブーカ）とは、変動性（Volatility）、不確実性（Uncertainty）、複雑性（Complexity）、曖昧性（Ambiguity）を英語表記した際の単語の頭文字（V・U・C・A）をとってVUCA（ブーカ）と名付けられています。これらの「先行きが不透明で将来が予測困難な時代」に対応する能力を、中学生にうちに養い、将来を生き抜く必要があります。その入り口として、受け身や指示待ちからの脱却を図り、一人一人が自主性・主体性を身につけて欲しいと思うのです。そのために大事なこと、それは以前も話をしたとおり、「気づき・考え・判断し・行動する」ことです。もっと詳しく言えば「色々な物事に興味・関心を持って気づき、自ら考え、正しく判断し、進んで行動する」ことです。この中で一番難しいのは、「進んで行動すること」です。日頃から、自身が正しいと思うことは、どんどん発言したり、行動に移したりしてください。間違ったり、失敗したりすることもあるかもしれませんが、それらがいい経験となり、次への成長へとつながっていきます。

折しも、今年の夏の高校野球（甲子園）は、日頃から選手の自主性と主体性を重んじ、「エンジョイ・ベースボール」を掲げて大会に臨んだ神奈川県代表の慶應義塾高校が見事優勝を果たしました。髪型や練習方法など、ひと昔前の高校野球では考えられないやり方で全国を制したことで、高校野球界に一石を投じたと言われています。「高校生だからできる」のでしょうか…。「都会の学校だからできる」のでしょうか…。VUCAの時代を、生涯にわたって生き抜いていかなければならない深江中学校の生徒にも、今のうちにその土台となる力や考え方を養ってほしいと願っています。当然、学校ではそのことを全職員で共有し指導に当たります。ちなみに、子供（生徒）に自主性・主体性を育成する上での、大人・教員・親のポイントは「結果はどうであれ途中の頑張りや工夫等を褒めてやること」「我慢すること」「待ち上手になること」（生徒自らが正しいと判断し行動したことに対して口出ししないこと）です。ご家庭でも是非…。

第18回長崎県中学校総合文化祭島原・雲仙・南島原大会

第18回長崎県中学校総合文化祭島原・雲仙・南島原大会が、11月16日（木）・17日（金）に、島原市の有明総合文化会館で開催されます。いわゆる「中文祭」と呼ばれ、例年7月に各運動種目で行われる「県中総体」の文化版のことで、毎年県下各地の輪番で開催されています。今年度は島原半島が会場となります。展示部門（2日間）には、美術作品や書（習字の作品）、理科、技術・家庭の作品等が会場に展示されます。舞台部門（11月17日のみ）には、箏・和太鼓・吹奏楽等の演奏や演劇、合唱、意見発表等が披露されます。今年、島原で開催されるその中文祭に、本校から2年生全員が合唱で参加することが決まりました！このことは、本日の始業式で、2年生も含めた全校生徒へお知らせしました。2週間ほど前の11月1日（水）に実施する本校の合唱コンクールの2年生課題曲と、もう1曲、計2曲披露する予定です。3年生は、合唱コンクールで学年合唱を行います。合唱コンクール後は、すぐに三者面談が始まり、進路を決定する大事な時期となりますので、今回は2年生に出場してもらうことになりました。本番は緊張すると思いますが、2年生にとっては、滅多にできない貴重な経験になりますので、合唱コンクールの練習の時から前向きに取り組んで欲しいと思っています。出場日時等の詳細につきましては、後日、お知らせいたします。今から本番が楽しみです！